

## 2017. 1. 22 「介護保険のいまと未来を考えるつどい」参加者アンケート

(1) あなたは?	数	%
1. 介護事業者・管理者	3	5.2%
2. 介護従事者	13	22.4%
3. 介護利用者・家族	7	12.1%
4. その他の介護関係者	1	1.7%
5. 医療関係者	6	10.3%
6. 議員・議会関係者	3	5.2%
7. 一般市民	17	29.3%
8. その他	7	12.1%
9. 無回答	1	1.7%
合計	58	

(2) この「つどい」をどうして知りましたか?	数	%
1. 実行委員会からの郵送案内・訪問	5	8.2%
2. 介護事業所からの紹介	5	8.2%
3. 団体・組織等からの案内	33	54.1%
4. 友人・知人等からの紹介	2	3.3%
5. チラシを見て	15	24.6%
6. その他	1	1.6%
合計（複数回答あり）	61	

(3) 参加した理由はなんですか?	数	%
1. 介護の問題に関心があった	40	54.1%
2. 企画内容が良さそうだった	8	10.8%
3. 講師に関心があった	2	2.7%
4. 介護事業所、団体・組織等、友人・知人等からの紹介があった（又は参加依頼があった）	11	14.9%
5. 自分のスキルアップになると思った	4	5.4%
6. ホームページを見て	6	8.1%
7. その他	1	1.4%
8. 無回答	2	2.7%
合計（複数回答あり）	74	

(4) 学習講演について	数	%
◆講演内容はどうでしたか?		
1. 良かった	52	89.7%
2. 良くなかった	0	0.0%
3. 何とも言えない	4	6.9%
4. 無回答	2	3.4%
合計	58	

◆内容は理解できましたか?	数	%
1. 理解できた	19	32.8%
2. まあ理解できた	31	53.4%
3. 少し理解できなかった	6	10.3%
4. 理解できなかった	0	0.0%
5. 何とも言えない	1	1.7%
6. 無回答	1	1.7%
合計	58	

- わかりやすかった。行政のも何回か聞いたが、よくわからなかった。加藤さんのお話は、利用者、介護者、事業者の立場からの話でよく理解できた。
- 政府の方針、今後の方向はあちこちで学ぶ機会があり、頭に入りきらない事でも一定の理解は出来ました。問題はだから？どうしたらいい？ということです。現実には安上がりの民間依存の総合事業がすすめられつつあり、地域が巻きこまれつつある中で、地域の支えあえを発展させると同時に、行政にやるべきことを求めていく事が求められています。もっとそこのところを具体的に学び力になると良いと思いました。

- 地域で認知症サポーター講座なるものを全6回受けました。近所にお年寄りが増え、配偶者を介護している家庭が多く見受けられるようになったからです。しかし安上がりの介護保険制度となっていくのかと、不安をもちました。ボランティアの善意も大切ですが、どうも制度との整合性が保てないですね。
- 内容が多くてしっかり理解するということまで行かなかった。後でよく読んでみたいです。
- ケアマネはお上からいただいた資格なので、いただいた方々はその資格を返上させられる様な事にはなりたくない。しかし、ケアマネの役割は利用者を守るという立場から、本来は「法」に対する番人的立場でなければならない。その目は介護事業所にも当然向けられなければならないが、国に対してもそうであるのが当たり前だと思う。しかし、認定調査では、国からの押し付けに屈しているのが現状である。利用者と事業所をつなぐ斡旋業者ではないのである。財源がだんだんなくなっていくという事情から、現場の経費を削ろうとしている。地域で支えるサービス、つまりボランティアをなるべく使って下さいと指導されて「はい、わかりました」は、ないのである。介護保険を守れるのはケアマネの反乱精神しかないわけである。
- 介護保険の移り変わり（医療も含む）を講義していただいて概要を理解できたように思います。現場の方の意見もあり、福祉全体の政府による切り捨てが目の前に迫って来る不安を強く感じます。介護、医療難民時代は現実のものに思えてきました。
- 時間の都合で途中退席。残念でたまりませんでした。講演はとてもよかったです。身に沁みました。冊子でお勉強したいと思います。
- 加藤さんのお話のように、とても暗い見通しを思います。介護現場（福祉）ケアマネ各6年づつ（～2012）経験しています。福祉を市場化の中で考えていく事は全く受け入れられるものではありません。しかし、今後ますます市場化になるのだ、という確認ができる学習会でした。又、自助、共助の部分を行政が声高に市民に押し付けるやり方は、「国家総動員」が叫ばれた戦時下と同様の全体主義に比するものではないでしょうか。退行的社会がつくられるだけなのではないかと思えます。医療、福祉あるいは社会保障の全体像について、もっともっと、理想像をしっかりと練り上げていく必要を感じます。資本主義、～新自由主義～と言った体制下での介護保険制度が現在のようになっていくのは目に見えていましたよね。
- 介護保険のしくみ、流れを勉強できて良かった。
- 介護現場・現状が少し分かった。政府の反国民的姿勢に怒りを感じた。
- 介護制度、医療制度の改正が頻繁に行われ、介護外しが多くなっていく傾向がよくわかったが、なぜ政治的転換が起らないのか不思議である。個々の審査会や部会での議論ではあまり福祉的視点が見られず、財政中心で動かされている。官僚制が、財務官僚の側を向いているという事だろうか。
- 内容は多くて、わりには時間が少なく、少しはしょっているの理解は自宅に帰ってから。
- 国のみんなの制度なのに、お金持ちしか使えないような制度に変えられてしまうことに強く反対します。
- 介護保険制度はその内容が複雑ですね。但し、現状は良く分かりました。
- 3年ごとに見直されるこの制度が変わるたびに国の本音が出てきて非常にこわい。このままだと介護職員の減少が危ぶまれます。

- 具体的に読む時間がなく、理解がよく出来ない部分もあった。ただ、介護保険が3年毎に改悪されていくことだけは明確に理解出来ました
- 今、自分の親が受けられる介護サービスと、自分の時代とは変わるのか。今のサービスも目の前（すぐに）変わるのだなど、改めて実感できた。読み流していたニュースなども、もう少し意識持って読まないかと。素人にはわかりにくいし、ましてや高齢者にはもっとわかりにくいことなので、あらゆる方面からのニュース発信を望みます。知らない人間が損をしないしくみを。
- 自分が介護認定を受ける状態が間もなくやってくる事に対して、意識を持つ様になったので、介護制度の実態が良くわかり勉強になりました。
- 介護の実態を知ることが出来て良かったです。
- 保険料だけガッポ、ガッポ取り上げて、気持ち良く利用できない介護事業に腹が立ちます。サービス重視の事業に切り替える様、皆で政権交代させましょう。
- 消費税 2%up の穴埋めで導入された経緯が制度の欠陥を物語っていることがよく分かった。しかし現実はこの制度で動いているので、国の思惑を明らかにしながら、現場のみなさんの声をよく聞いて、少しでも良い方向性をみつけていく事が大事。4月から始まる総合支援事業もしっかり監視と対応をしていきたいと思っています（批判的統合）。
- 自助から始めろなどともない事です。要支援2の母の援助でも大変です。すくない貯蓄と体力を削って介護する私たち夫婦が、やがて介護を必要とする年齢になった時を想像すると、13条や25条とは無縁になるなど感じます。
- 介護保険のこれからをきちんと考えていかないと働く側だけでなく利用する時に利用できなくなってきたという危機を感じました。
- 介護保険制度が始まってからの経緯にも触れていただいたので、わかりやすいと感じました。利用者も行政の担当者も目まぐるしい制度の変更を理解することは大変なようです。地域包括ケアシステムについても、もう少し詳しくお話しできただけ良かったです。ありがとうございました。
- 介護の現状、またこれからの方向性が、短い時間でしたが、大変良く理解できました。介護保険制度はどんどん縮小してきていますが、この制度はもう崩壊しているのでは。これ以上のお金を出すことが国、市、町、村が赤字。本当は国のやるべき事を民間に押し付けたが利益を生むことがむずかしくなり、事業所をやめなければいけないこの制度はどこに。
- 社会保障全体の問題の中で特にこの介護保険はひどい。将来いつか利用したくても、とてもできる状況にはないのでは？と危機感をもった。
- 現在の介護に対しても、ヘルパーの件についても、あまりにも短期間で条件がころころ変動する行政について、腹は立つし、高齢である為（今は元気であっても）明日をも知れない状態に不安がつのります。本当に政府のやり方が目まぐるしい為に、一致団結を頑張りたいと思う。
- とっくの前から、介護制度があったことがわかりました。
- 介護保険制度が、どう改悪されてきているのかよくわかりました。介護従事者のみなさんが、厳しい現場でがんばっている様子がよくわかりました。制度をどう改善させ充実させていくのかはむずかしい課題ですが、方向を見いだせば良いのですが。息子が特養ホームで働いているのですが、将来が大変心配です。
- そろって悪くされようとしていことを知らせて関心を持ってほしい。介護が必要な人と、

介護に従事する人の両方の人権が守られる社会にならなくては！

- 情報量が多いので、もう少し時間をとってお話しをしていただきたいかった。
- 内容が厳しくて、明るくなれなかったのですが、このことを地域の仲間に伝え、少しでも改悪を止められる運動をしていきたいと思います。
- みんなで学習して、国の間違えた方針を押し戻していくように力を結集しなければいけないなど、気持ちを強くしました。
- とても理解しやすい内容で、実態が自分の感じていることと同じであること。住民自治を根付かせていかなければと考えました。

(5) 全体をととして

◆実践報告や会場発言の内容はどうか？

	数	%
1. 良かった	47	81.0%
2. 良くなかった	0	0.0%
3. 何とも言えない	5	8.6%
4. 無回答	6	10.3%
合計	58	

- 実際の現場での問題が聞けて良かった。
- 現役のデイサービス管理者、ヘルパーの実感などが聞けて良かったと思います。
- 特に実践報告がわかりやすかったです。介護、医療現場の実態と合わない国や市の方針を転換させていかないと、今後更に国民の負担になると思いました。
- 3名の方の発言・報告で、現状をリアルに感じることができました。地域包括支援システムの実際（町村部も含めて）を伺うことができたらさらに良いと思います。
- ヘルパーさんから具体的な例が述べられ、介護保険の矛盾点がわかりやすかった。民間介護事業所の経営困難又、介護職員の処遇は、なかなか改善されないし、なり手も増えないだろう。私は大手民営の介護事業所の導入が手広く行われている実態を知りました。医療薬から介護住居でのサービスすべてが企業化されています。お金がなければ入れません。しかし閉鎖的な環境が利用者にとっては、いかなるものかと考えさせられました。
- 川崎市の事例報告は、とてもわかりやすくて良かった。
- 川崎の話がわかりやすかったです。
- 川崎の総合事業、もっと時間をとって聞かせて欲しい。

◆つどいの運営について

	数	%
1. 良かった	48	82.8%
2. 良くなかった	0	0.0%
3. 何とも言えない	5	8.6%
4. 無回答	5	8.6%
合計	58	

- 医療生協かながわ茅ヶ崎南支部です。医療と介護について実態を知り、どうすれば良いか学習する必要があり、参加しました。今後ともよろしく願います。
- 予想以上に参加者が多く、関心の高さが伺えた。自分の身の回りでも、介護事業者の倒産を耳にすることが多く、仕事を減らした人の話も聞く。介護報酬を増やし根本的な解決を求める運動の必要性を感じました。
- 会議の運営は良かった。時間どおりです。質問者や意見を述べた方々も的を得て、内容

もしまりのあるつどいとなったと思います。

- 今、要介護1のかみさんを自宅介護して、4カ月目に入っています。おおいに参考になりました。
- 日常、忙しく活動していますので、なかなかこのような機会がありません。今日は、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- 医療も介護も、保育も教育も、労働も貧困問題も、みんな根っこが同じですね。全ての人の人権が守られて、その人の望みどおりに尊重されて生きられることが、実現されるようにたたかっていかなくてはなりません。
- 財源はいったいどうするんだ？と役人がおっしゃる。役人がはびこるために、ありとあらゆるムダ使いをやめさせることが出来れば、あまるほどの財源が出て来ます。これは医療でも同じことでしょう。政党は、政権をとってしまったら、とたんに役人と結びついてしまいます。政治家は本来、国民と結びつき、税金をいかにつかうかを企画していく仕事です。もし共産党が役人と結びつかないで行政改革をしてくれ、役人を本来の公僕に戻してくれるなら、喜んで共産党の支持をしたいと思う立場です。役人の給与はすべて国民の税金です。自分たちの報酬は確保して、財源はなくなりましたはないでしょう。
- 今、元気である私は、一生懸命近所同士で助け合って頑張らなければ・・・と思うのみです。「みかえり」を求めずに・・・。
- 国は迷走していて、現場は混乱し疲れきっている姿が浮かびます。今後、利用者は増える一方なのに、介護事業所が減っている？企業として市場はあるのに、利益が見込めない。それを助長しているかのような政策は一体何なのか、未来はどうなるのか不安になった。行政の方々、自分もいつかは介護される側。お金があるから下々の現状はわからないのでしょうか。
- 国が責任放棄で、要支援1・2だけでなく、要介護1・2まで拡大して、行政の総合事業に追いやることに怒りをおぼえます。事業？を行政に投げつける財政措置の事が解らない。各自治体の国に対する取り組みを知りたい。「生活保護の強制的な卒業」の新聞報道に驚かされたが、総合事業の介護の面でも、同じことが起こっていることに不安を感じ、署名等でたたかっていきたい。
- 黙ってはいられないです。介護・医療の改悪制度を知ることで、逆に（それも踏み台にして）怒りを力に、署名のひとつももらい、話題にして、政府の実態や私たちの理想を語り合い、たたかっていきたいものです。
- 制度が改悪されることは理解できましたが、現状は内容がどんどん縮小されています。散歩はダメ。階段の昇り降りも「リハビリはできません」と言われたのですが、外出するには、5段位の階段を降りないと出かけられない。手を差し伸べてくれる人もいますが、「見守りだから見ていた」と言うヘルパーもいる。
- 介護保険は見直しが必要だと思います。皆が平等で安心して暮らしていかれる様に改善していかれる事を願います。参加できて良かったです。ありがとうございました。
- 在宅4割以上で自宅で死亡することを国が希望しているので、ご家族に介護制度で有料・税金を少なくする。介護者家族にお金の支給をすることにすれば、どんどん親を面倒みる人がいるのでは。事業所が赤字で儲からない制度はもうやめて、家族単位にお金を投入する制度を希望。
- 国の社会保障の貧しさをさらにこれでもかと貧しいところにしわ寄せする制度、憲法を

ないがしろにする姿勢を感じる憲法への反対運動と一緒に合わせて、ともに頑張りましょう。

- 資料は字が小さすぎて見えないので、もっと見えるような資料だと助かります。
- <質問>民間は補助が出てないのですか。職員待遇 1 万円くらい出ると言っているが、人件費のみになるのですか。

#### ◆今後の企画などへの要望

- 厚労省が、介護事業者を大手に絞っていかうとしているのは、具体的にどういうことを詳しく知りたい。実際の現場では、大手がやらない部分を中小の事業所が支えている。
- このままでは、地域の善意が利用され、つぶされてしまいます。もっと元気になる。力になるような企画をお願いしたいです。現状はよくわかりました。力をあわせてもの申していかなければ！と思いました。
- 事例発表がよいと思います。
- (社)ハートフル記念会に似たケースが、(社)大磯恒動会でも起こっています。3年前に理事及び理事長が交代した後、不当労働行為もあり、県当局も経営内容の悪さを認識しているようです。社会福祉法人を悪意を持って喰いものにすることは簡単にできるのでは？この点について、法的もしくは条例で法人、利用者、働き手を守っていくことが必要と感じます。ぜひ、ご検討ください。
- 現在、介護保険を利用されている方々の意見も含めた学習会やパネルディスカッション等、より参加して理解が深まっていく会も期待しています。ありがとうございました。
- 利用者の立場からの現場の声も拾ってほしかったです。家族の参加も大事です。
- 地域包括ケアシステムが良く理解できないので、今後詳しく聞きたい。川崎医療生協の方の話は、比較的良く理解できました。
- 実際に介護認定を受けて、利用している（利用した）人のお話も聞きたいと思います。とはいっても、体調的に無理でしょうが…。
- 事業者やヘルパーなどの実際の状況など、もっと聞きたいと思いました。
- 制度改善への自治体要求を各報告者から提起（17年度からの新介護計画への運動）。利用者発言を入れたら。
- 今後、社会保障改革（改悪）について、実施後、その問題点、現状などについて話を聞きたいです。
- 社保協としてやるならば、次は理想的な制度設計の模索だと思います。介護保険制度、障害者福祉制度…とみても、専門家が多く養成されてきたと思います。本当にもったいないと思います。人材をムダにしない。本来の意味で、人材が生かされるのにはどうすべきか…真剣な模索が必要ですね。
- 地域で介護利用をしている人の悩みを聞く集会の場を身近な所に欲しい。